

< タブレットPCに関する調査 >

これからのPCに求められるのは、「直感操作」「フルスクリーン」「コンパクトな大画面」

～タブレットPCにおけるキーボードレス入力へ色濃く残る抵抗感、
一方でタブレットPCへの魅力もキーボードレス入力による直感操作というギャップが明らかに～

(調査期間:2010年12月7日～8日、有効回答:20代～40代の男女計600人)

「日本のノートPCは高すぎた」「全ての才能にパソコンを」のメッセージのもと、ユーザーのニーズやライフスタイルに合わせた商品を提供・提案している日本エイサー(本社:東京都新宿区 代表取締役社長:ボブ・セン)は、エイサーならではのユニークさを取り入れた2画面タッチタブレットPC「ICONIA」の発表にあわせ、「タブレットPCに関する調査」を行いました。調査は、2010年12月7日～8日にインターネット上でを行い、20代～40代の男女各300名計600名から有効回答を得ました。

以下はその調査結果をまとめたものです。

< 調査結果トピックス >

タブレットPC(iPad・スレートPC含む)を持っている人は **わずか1.8%**

< 購入していない理由 >

1位「価格が高いから」 2位「利用シーンが浮かばないから」 3位「有効に使えないから」

タッチパネル(タッチスクリーン)への「キーボードレス入力」
体験前も体験後も過半数以上の方が「不安」「抵抗感」を感じる

タブレットPCに対する不満 圧倒的1位
「キータッチ入力の際に画面が狭まり見にくい」(63.6%)

タブレットPC未保有者のうち今後タブレットPCを購入したい人 **43.8%**
液晶画面サイズ、価格ともにモバイルパソコン程度が目安
選択基準にはハイコストパフォーマンスを求める傾向

2画面のタッチタブレットPCを購入したい人 **22.0%**
理由は「フルスクリーン下での直感操作」が実現し「大画面化も可能」だから

この調査において使用しているタブレットPC(iPad・スレートPC含む)とは、Apple「iPad」、東芝「libretto W100」、及びWindows® OSのスレートPCで画面サイズが9inch以上のものをさします。
以下、タブレットPCと表記。

< 調査概要 >

調査タイトル	: タブレットPCに関する調査
調査期間	: 2010年12月8日～9日
調査実施機関	: 楽天リサーチ株式会社
調査対象	: 全国の20代～40代の男女
調査方法	: インターネットリサーチ
有効回答数	: n=600
割付	: 20代～40代の男女 各セル100名

【報道関係お問い合わせ先】

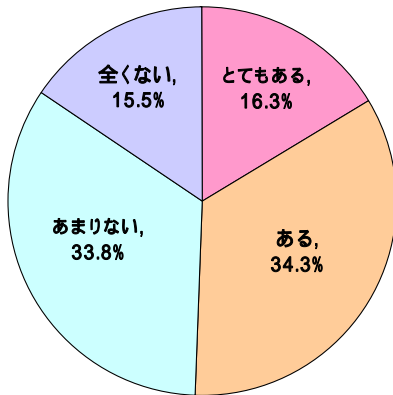
日本エイサーPRオフィス 担当:山岡・遠藤

TEL:03-5572-7076 / FAX:03-5572-6065 / e-mail:ajc_pr@acer-info.jp

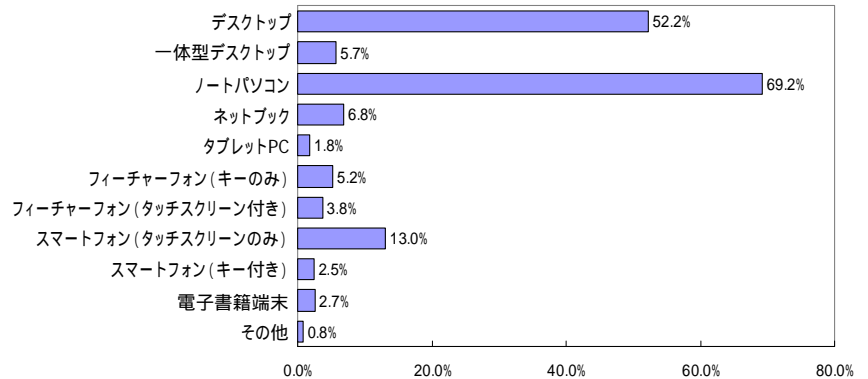
1. タブレットPCに興味を持っていない人 1.8% 購入していない理由のトップは「利用イメージがわからない」

今年iPadが発売され深夜にもかかわらず多くの人が行列をなす様子が報道されました。この発売をきっかけに世間の話題をタブレットPCが席巻しました。そこでまず、タブレットPCに対する興味と保有の有無を聞いてみました。するとタブレットPCに興味がある人は「とてもある」(16.3%)と「ある」(34.3%)を合わせて50.6%と2人に1人が興味があると回答しているのに対し、意外にも「あなたが持っているパソコンおよびモバイルデバイスを教えてください。」という設問で(n=600、MA)で「タブレットPC」と回答した人はわずか1.8%にとどまる結果となりました。

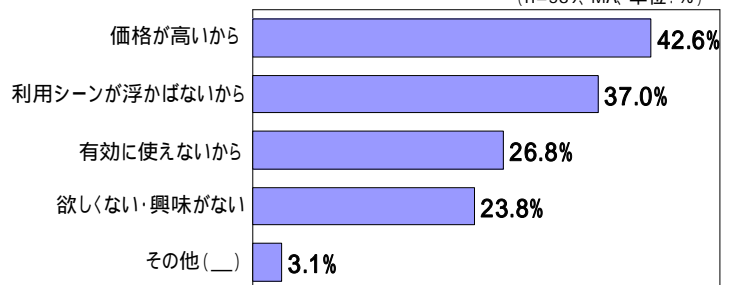
<あなたはタブレットPCに興味はありますか。>
(n=600、SA、単位：%)



<あなたが持っているパソコンおよびモバイルデバイスを教えてください。>
(n=600、MA、単位：%)



<あなたがタブレットPCを購入していない理由は何ですか。>
(n=589、MA、単位：%)



その主な理由を聞いてみたところ、トップになったのは「価格が高いから」でした。ただし、2位以下を見てみると、「利用シーンが浮かばないから」(37.0%)「有効に使えないから」(26.8%)と、興味はあるもののまだまだタブレットPCは身近なデバイスだと感じられていないことが分かりました。

そのためオーソドックスなノートパソコンが低価格化している現在、タブレットPCの価格は、「高い」と感じられているのかもしれない。

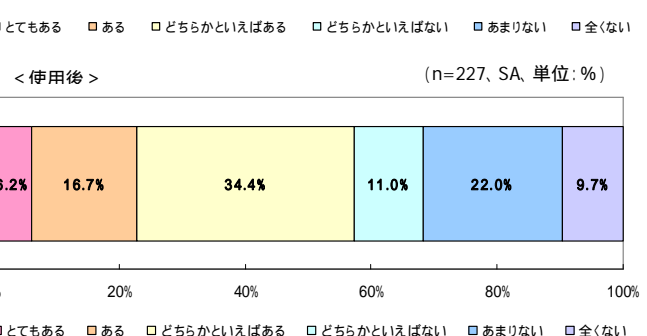
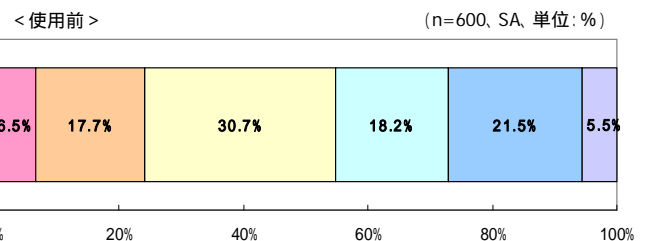
2. タッチパネル(タッチスクリーン)への「キーボードレス入力」 体験前も体験後も半数以上の人不安を感じるに回答

「タッチパネル(タッチスクリーン)におけるキーボードレスの入力に不安・抵抗感を感じますか。」(n=600、SA)とタブレットPCの保有者へは保有する前、非保有者の人へは現在のイメージを聞いてみたところ、「とてもある」(6.5%)「ある」(17.7%)「どちらかといえばある」(30.7%)をあわせると54.8%に人が「キーボードレス」の入力に不安を感じている結果がでました。

一方で、すでにタブレットPCの保有者で経験済みの状態では、「とてもある」(6.2%)「ある」(16.7%)「どちらかといえばある」(34.4%)と57.3%の人が「キーボードレス」の入力に不安を感じているという結果になりました。

これまでのデスクトップPCやノートパソコンでのキーボード入力はもちろん、携帯でもボタンで入力することに慣れ親しんでいるため、プッシュする感覚の無い入力方式にはやはり戸惑いと不安があるようです。

<タッチパネル(タッチスクリーン)におけるキーボードレスの入力に不安・抵抗感を感じますか。>



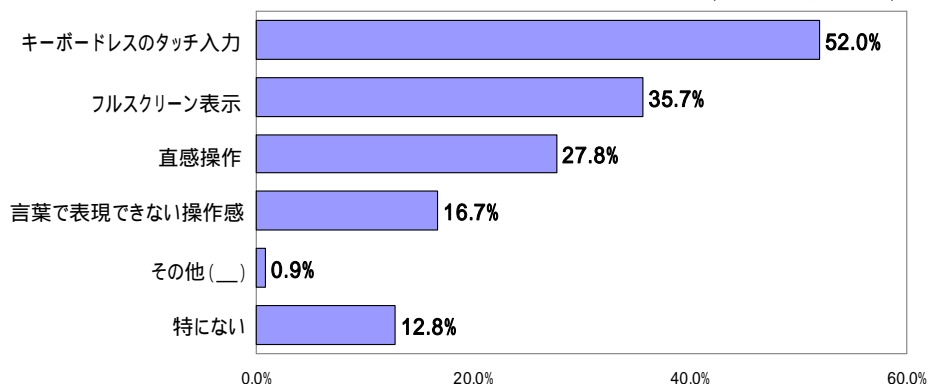
**3. タッチパネル(タッチスクリーン)の魅力は「キーボードレスのタッチ入力」が52.0%で圧倒的1位。
一方でタブレットPCに対する不満 第1位は「キータッチ入力のときに画面が狭まり見にくい」(63.6%)**

タッチパネル(タッチスクリーン)を使い始めて感じた魅力は「キーボードレスのタッチ入力」(52.0%)

タッチパネル(タッチスクリーン)への「キーボードレス入力」に対する不安指数が高い中、「タッチパネル(タッチスクリーン)を使い始めて感じた魅力は何ですか。」(n=227, MA)と聞いたところ、「キーボードレスのタッチ入力」が52.0%と2位の「フルスクリーン」(35.7%)を16.3ポイントも引き離して、1位になりました。

また、タッチスクリーンならではの「直感操作」は27.8%と3人に1人の割合で魅力だと感じているようです。

<タッチパネル(タッチスクリーン)を使い始めて感じた魅力は何ですか>
(n=227, MA, 単位:%)



タブレットPCに対する不満 圧倒的1位は「キータッチ入力のときに画面が狭まり見にくい」

一方で、タブレットPCを保有していると回答した人に「タブレットPCを使っていて不満に感じる場所は何ですか。」(n=11, MA)と聞いたところ、「キータッチ入力のときに画面が狭まり見にくい」が1位を獲得しました。また、同率3位に「動作が遅い」「操作性が悪い」「利用シーンが少ない」という操作に関する答えが多いことから、タブレットPCは他のタッチパネル(タッチスクリーン)よりハードに使用している傾向が読み取れます。

<タブレットPCを使っていて不満に感じる場所は何ですか>
(n=11, MA)

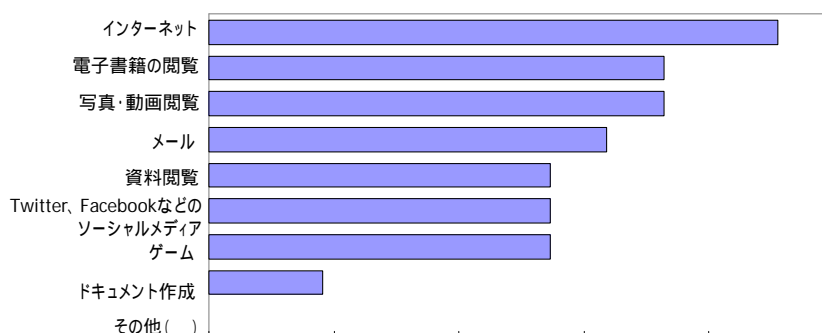


タブレットPCの主な利用用途 第1位「インターネット」

そこで、タブレットPCを保有していると回答した人に「主な利用用途」(n=11, MA)を聞いたところ、1位~3位はいずれも「閲覧」機器として使っていますが、4位で「メール」、5位「Twitter、Facebookなどのソーシャルメディア」と過半数がメッセージを発信するためのデバイスとして利用するとともに、8位「ドキュメント作成」も健闘しパソコン機能を必要としていることが分かります。

タブレットPCに対する不満は、画面が大きいだけに期待されていた利用用途に対する入力機能に応えきれなかったことによることから来るのかもしれませんが。

<タブレットPCの主な利用用途は何ですか>
(n=11, MA)



4. タッチパネル(タッチスクリーン)形式のパソコンとして最適なサイズと価格は現在のモバイルノートPC程度を選ぶ傾向

タッチパネル(タッチスクリーン)形式のパソコンとして最適なサイズは9inch以上～11.6inch未満

タッチパネル(タッチスクリーン)形式のパソコンを想定したときに、その液晶サイズが一番最適かを聞いたところ (n = 600, SA)、1位は「9inch以上～11.6inch未満」(22.0%) 2位は「7inch以上～9inch未満」(21.0%) という結果となり、最低でもモバイルノートPC程度の液晶は欲しいと考えていることが分かりました。

< タッチパネル(タッチスクリーン)形式のパソコンとして最適なサイズは何ですか > (n=600, SA, 単位: %)

5inch以上～7inch未満	6.8%
7inch以上～9inch未満	21.0%
9inch以上～11.6inch未満	22.0%
11.6inch以上～13.3inch未満	9.0%
13.3inch以上～15inch未満	4.3%
15inch以上～20inch未満	2.2%
20inch以上～	1.3%
わからない	33.3%

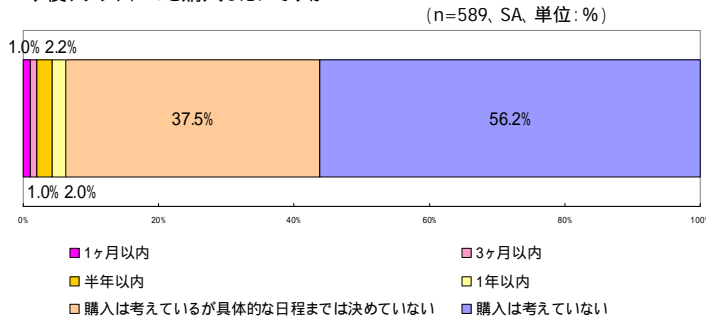
タブレットPCを購入するとしたら・・・

第1位「30,000円以上～50,000円未満」

「今後タブレットPCを購入したいか」(n = 589, SA) という質問で、購入を考えていると回答した人(43.8%) にその具体的な価格の目安を聞いてみたところ、価格に関しても一番のボリュームゾーンはモバイルノートPC程度の30,000円～50,000円で44.2%、次いで「～30,000円」が40.3% という結果でした。

現在の利用に関する不満が「キータッチ入力の際に画面が狭まり見にくい」ことによる文章作成の際の不具合だとすると、タブレットPCはあくまでもサブ・モバイルにとどまるため、この結果となったと推測できます。

< 今後タブレットPCを購入したいですか >



< タブレットPC購入するとしたらどの位の価格がいいですか >

(n=600, SA, 単位: %)

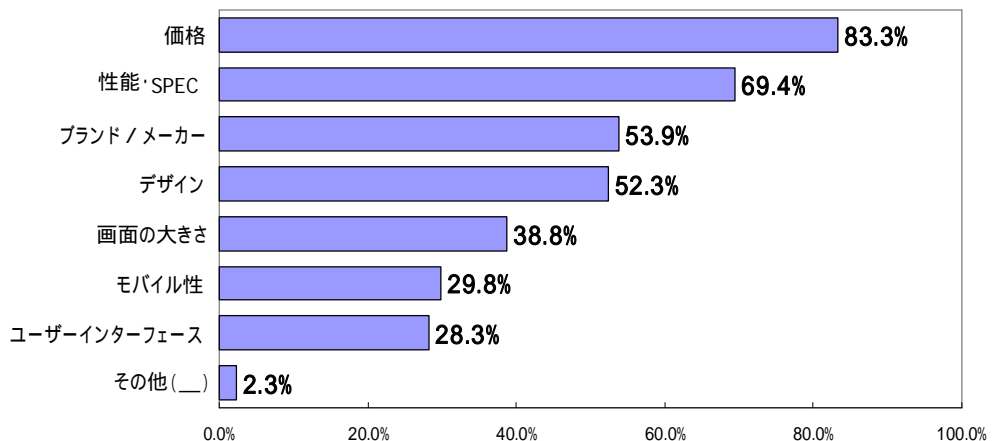
～30,000円未満	40.3%
30,000円以上～50,000円未満	44.2%
50,000円以上～70,000円未満	10.1%
70,000円以上～100,000円未満	4.3%
100,000円以上～150,000円未満	1.2%
150,000円以上～	0.0%

タブレットPCを購入する際の基準は、1位「価格」、2位「性能・スペック」

今後タブレットPCの購入を考えている人に、「タブレットPCを購入する際の基準は何ですか」(n=258, MA) と聞いたところ、1位「価格」(83.3%)、2位「性能・スペック」(69.4%) とコストパフォーマンスを重視していることが伺える結果となりました。一方で、3位「ブランド・メーカー」(53.9%) や4位「デザイン」(52.3%) と他人に見せることを前提としていることも推測できます。いずれの選択肢も25%を超えており、タブレットPCにはハイレベルでのコストパフォーマンスが求められていることが分かります。

< タブレットPCを購入する際の基準は何ですか >

(n=258, MA, 単位: %)



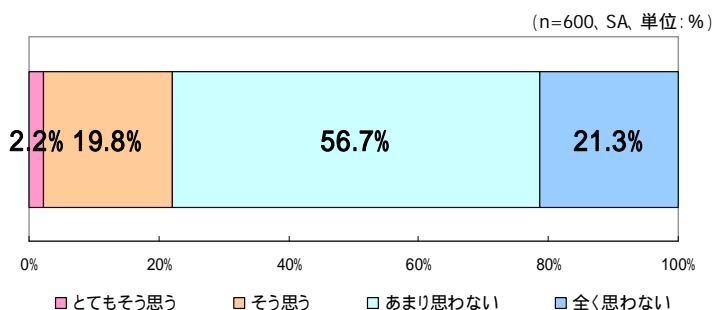
6. 2画面のタッチタブレットPCを購入したい人 22.0%

理由の第1位は「片面はフルスクリーンで液晶として使っても、もう片面でタッチ入力できる」(63.6%)

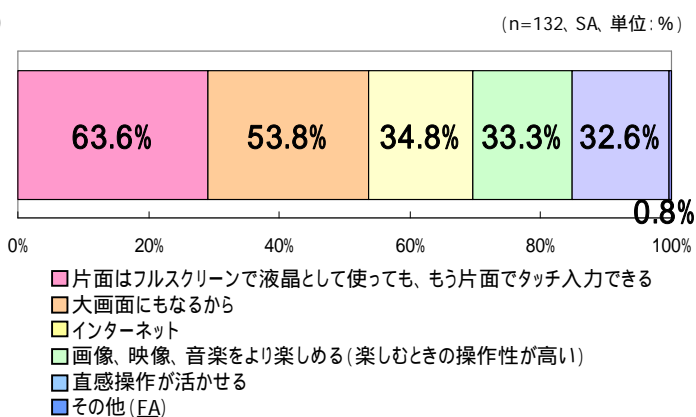
「2画面のタッチタブレットPCを購入したいと思いますか。」(n=600, SA)と聞いてみると、「とてもそう思う」(2.2%)とそう思う(19.8%)をあわせても22.0%の人しか購入意向がありませんでした。ただし、未知なる製品に対する購入意向としては、5人に1人が興味を持っていることでもあり、市場拡大の見込みは高いといえそうです。

購入理由としては「片面はフルスクリーンで液晶として使っても、もう片面でタッチ入力できる」(63.6%)や「大画面にもなるから」とタッチスクリーンデバイスのメリットを最大限に生かせる2画面の特長を浮き彫りにする結果となりました。また「直感操作が活かせる」(32.6%)も通常のタブレットPCに比べてより活かせる、という結果であると考えられ、消費者の期待が伺えます。

< 2画面のタッチタブレットPCを購入したいと思いますか >



< 2画面のタッチタブレットPCを“なぜ”購入したいと思いますか >



< 日本エイサーより調査結果を受けてのコメント >

今回の調査を通じ、スマートフォンやタブレットPCといったタッチスクリーンデバイスの市場普及・拡大を受け、タッチスクリーンによる直感操作が浸透しつつある中、PCにも「タッチスクリーン」による「直感操作」「フルスクリーン」「コンパクトな大画面」は欠かせないキーワードになりそうだということを改めて実感しました。

そんな中、日本エイサーは、エイサーならではのユニークさを取り入れた2画面タッチタブレットPC、通称“TOUCHBOOK”カテゴリから「ICONIA(アイコニア)」を2010年12月15日に発表いたしました。

このICONIAは、これまでユーザーの皆様がタブレットPCに対して抱いておりタブレットPCの課題でもある「キータッチ入力の際に画面が狭まることによる入力の不便さ」を解消する14inchの2画面タッチタブレットPCです。大きな特徴は、これまでユーザーが慣れ親しんだパソコンのフォルムであり、そのフォルムのまま2画面のタッチタブレットへと進化したということです。そのため「ICONIA」は「フルスクリーン」で「直感操作」が活かせる上、2画面をつなげれば「大画面」にもなるので、次世代ノートPCとして消費者に楽しんでいただけるのではないかと考えます。

この2画面タッチタブレットPCを最先端のパソコンとしてユーザーに提案し、実際に試していただくことで、タブレットPC市場の需要拡大を図るとともに、ユーザーに新しい体験を提供できると信じています。

< 製品概要 >

【モデル名】	ICONIA (読み: アイコニア)
【ディスプレイ】	14.0inch WXGA (HD) Dual multi-touch screens 1366 x 768 200nit
【想定売価】	14万円前後
【発売時期】	2011年2月以降



【報道関係お問い合わせ先】

日本エイサーPRオフィス 担当: 山岡・遠藤

TEL: 03-5572-7076 / FAX: 03-5572-6065 / e-mail: ajc_pr@acer-info.jp